

琉球大学学術リポジトリ

平成19年度 琉球大学学術リポジトリ報告

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: 出版者: 琉球大学附属図書館情報サービス課情報サービス企画係 公開日: 2008-06-19 キーワード (Ja): 学術機関リポジトリ, 機関レポジトリ キーワード (En): institutional repository 作成者: 琉球大学学術リポジトリ事務局 メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/6127 |



活動内容

平成19年

- 1月～3月 リポジトリ説明会(教授会・紀要委員会・個別訪問)
- 1月23日 各紀要編集委員会宛てに投稿依頼文書を送る。
- 2月23日 学術リポジトリ国際講演会を開催。
- 3月1日 仮サーバによるリポジトリシステム試験公開を開始。
- 4月1日 情報サービス課電子情報係がリポジトリ担当係となる。
- 4月2日 本番サーバによるリポジトリシステム試験公開を開始。
- 5月22日 リポジトリ説明会(21世紀COEコアメンバー会議)
- 7月1日 事務組織再編に伴い、情報サービス企画係が設置される。
- 9月6日 公開コンテンツ1,000件突破。
- 11月16日 **リポジトリ正式公開を開始。**

公開記念講演会を開催。

セルフアーカイブシステムを導入。

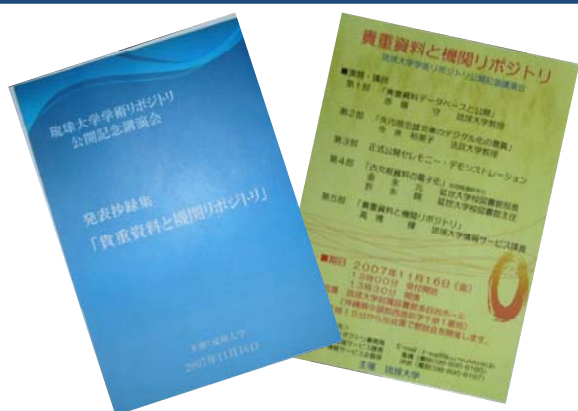
- 11月29日 沖縄関係コレクション「ベッテルハイム手稿日記・公文書簡」を公開
- 12月～2月 リポジトリ説明会(セルフアーカイブ)
- 2月14日 公開コンテンツが2,000件を突破。
- 3月26日 公開コンテンツが3,000件を突破。

琉球大学学術リポジトリ
http://ir.lib.u-ryukyu.ac.jp



システムは、NALIS-R(NTTデータ九州)を使用。
ロゴマークも含め、トップページを図書館職員が自力でデザイン化

公開記念講演会



平成18年に大韓民国の延世(よんせい)大学校中央図書館と国際交流協定締結。国際講演会など学術リポジトリに関する相互の国際的な情報交換を行う。

現在刊行中の学内紀要19誌中8誌が投稿規定を改定し、その他の紀要についても改定を検討中または発行時にリポジトリ掲載を奨励する、という協力体制を整備

広報活動

- 研究者向け学内説明会(3回)
- COEコアメンバー会議での学術リポジトリ説明会
- 手作りリーフレットの配布
- パンフレットを作成し全教員へ配布
- リポジトリ公開記念グッズとして、「うちわ」を300部作成し配布
- 公開記念講演会「貴重資料と機関リポジトリ」を開催(平成19年11月16日)
- ベッテルハイム史料修復記念講演会(平成19年11月29日)にて、学術リポジトリのデモンストレーションを実施



コンテンツ収集状況

コンテンツの収集については、21世紀COE報告書および学内紀要に重点を置き、各担当部署や紀要委員会へリポジトリ掲載および投稿規定見直しについて働きかけを行いました。並行して過去掲載分については在勤中の全教員への著作権処理を行い、許諾がとれた分からは遡及入力を進めているところです。

リポジトリの登録件数は、平成19年3月末時点で213件だったものが、平成20年3月末で3,044件となり、平成19年度事業の伸び率は約14倍でした。平成20年3月末のコンテンツの内訳は以下のとおりで、グラフはその増加傾向を表したものです。

- 学術雑誌論文 274件
- 紀要掲載論文 2,439件
- 学位論文 3件
- 研究報告書等 270件

- 会議資料 29件
- 沖縄関係コレクション 25件
- その他 4件

